

KSKR
NO. 19



パンジー
だより
1996年11月

発行 1996年11月
編集 クリエイティブハウス
"パンジー"

みんなで成功させた「つばさイベント」 ご協力、ありがとうございました

最近とても寒くなってきました。もう今年も終わりに近づいて、パンジーでは、クリスマス会、忘年会と楽しい行事が待っています。

さて、10月9日に行われた「つばさグループ10周年記念イベント」は、無事に終えることができました。

前日が雨で、イベントの当日のお天気はどうなるのだろうかと心配していたのですが、みごとに朝からカラリと晴れてくれました。そのようなお天気が少しは手伝ってくれたのか、つばさイベントはいろいろな方々に来ていただき、おかげ様で大盛況に終わりました。また、来ていただいた方々だけでなく、いろいろな方々にお世話になって成功したイベントでした。どうもありがとうございました。

このようなイベントを通じて、毎年毎年一歩ずつパンジーは地域に根ざしていくのだなぁと感じます。

また、つばさイベントの中で、生田さんは永六輔さんとの対話を、福田さんと五十嵐さんはパンジーの紹介を、そして堀川さん、野畑さん、岡本さんは「シャンテ」の人たちに花束を渡し、パンジーの多くの方は、シャンテのコンサート中、舞台上に上がって楽しんでいました。みんなで成功させたつばさイベントだったなぁと思います。

さて、つばさイベントが終わり、これから少しの間、パンジーでは講演活動が盛んになります。今、毎日のように講演に行くメンバーは、講演の練習をがんばっています。

ぜひみなさんのところでも、メンバーの楽しい講演を聞いていただきたいなぁと思います。講演の依頼をお待ちしています。

(ゆきめ)

一九九六年五月一日 第三種郵便物認可 毎月十二回 (三・四・六・八の日)

パン部門の1日



こんにちわ、パン部門です。
ますます寒くなる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。今回は、パン部門の一日を紹介したいとおもいます。

朝9時、食パン生地のおねりにはいります。それと平行して前日に仕込んでおいた菓子パンの様子を見ながら、どんどんオーブンで焼きにはいっていきます。

その後、ねりあがった食パン生地を成型するのですが、惣菜パンもこの生地からつくるので、すこしややこしく、ちょっとバタバタすることもあります。

11時になりました。菓子パンはすっかり焼きあがり、どんどん袋のなかへはいっていきます。惣菜パン、食パンはだいたいこの時間から焼いていくことになります。一方で翌日分の菓子パン生地、レーズン生地の粉計量が行われたり、クリームが炊かれたりしています。当日分の伝票も出来上がってきます。

出来上がったパンを注文ごとに仕分けし、食パンが焼きあがると、すぐに12時で、昼休みになります。

午後1時になりました。大急ぎで食パンを切り、パンを車、あるいは自転車に積み込んで配達にでかけます。配達以外の人たちは、バタバタと明日のパンの仕込みにはいります。3時30分には、配達の人が帰ってきて、仕込みも終わり、1日の作業が終わりです。
(吉竹)

秋の収穫は、さつまいも！

秋も終わりに近づき、外の風が冷たく、体も引き締まる季節になりました。さて、秋といえば皆さんは何の秋になるのでしょうか。

パンジーでは、実りの秋、食欲の秋というところでしょうか。パンジー農園でたくさんさつまいもが収穫できました。思いのほかたくさんとれて、畑から帰ってきたメンバーは、とても満足げでした。さっそくおやつにふかしたおイモを食べるとこれがまたおいしいのです。もし、食べたいなぁと思われた方は今の内にパンジーに来て買っていただきたいと思います。好評ですのですぐになくなってしまいかもかもしれません。

さて、次はどんなものが収穫できるかたのしみです。

(はまだ)

自立生活センター「わくわく」より

コミュニケーションの難しい人たちとともに

10月17・18日に自閉症の人や言語コミュニケーションの難しい人たちを中心に、生駒山麓公園ふれあいセンターで一泊しました。今回はパンジーに4月から1月に3・4回のペースで来ていただいている中新井先生にもスーパーバイザーとして参加していただきました。小人数で行くことや、移動のストレスが少ない近い所ということを考えて、車で30分の距離にある生駒のふれあいセンターを選びました。そして中新井さんのアドバイスもあり、事前に何人かのメンバーと山麓公園の下見に行きました。自閉症の人にとっては、初めての場所では不安感などが多く、下見をしてから泊まりに行った方が安心感が持て、楽しむ余裕も出てくるだろうという理由からです。

一日目は午後4時位までフィールドアスレチックや公園内にある大きな滑り台などで遊びました。メンバーとは、いつもパンジーと一緒に過ごしますが、私たちが思いもよらなかった各自の楽しみ方があることを知りました。すべり台で何度も楽しそうにすべるのを見ると楽しんでくれているんだなと実感もてました。夕方からは保護者の数人も加わって夕食会をした後、保護者と中新井さんは日常の相談などを含めた話をし、メンバーと職員、ヘルパーは入浴の後、夜のひとときを過ごしました。

二日目は「のどか村」で村内散策、芋掘り、バーベキューなどで楽しみました。今回は、準備の不手際などもありましたが、みんなの写真をみるととてもいい表情の写真ばかりでよかったなあと感じます。

これからも、定期的にこのような催しをし、コミュニケーションの難しい人たちとの関わりを考え、深めていきたいと考えています。 (大北)



「わくわく」の予定 (第一、第三土曜日)

- | | |
|--------|------------------------|
| 12月7日 | パンジークリスマス会 in 梅田クラブダウン |
| 12月21日 | 外出日 みんなが好きなところへ出かけます。 |
| 1月4日 | 春日大社と石切神社へ初詣 |
| 1月18日 | 外出日 みんなが好きなところへ出かけます。 |



グループホーム

年末年始の **招き福** 介護者募集中!

寒さがきびしくなってきましたが、グループホームつばさ、あゆむの面々はみんな元気にとびまわっています。土曜日は神戸で話そう会の事務会議に行ったり、府や市のイベントに出かけて行っています。11月2、3日も香川県まで講演に行きました。香川県の作業所からもたくさんの人達が講演を聴きにきてくれて、とてもにぎやかで楽しくて、みどりさんは講演の中でピア・カウンセリングの説明をしたり、カウンセリングのリーダーになりたいと話したそうです。

最近、みどりさんが介護者を探して、土日もグループホームで過ごしています。11月の初めにガイドヘルパーの名簿を見ながら懸命に電話をかけたかいてあって、何とか介護表がうまりました。両親は本人が望むならということで見守っています。12月は年末年始にかけて長い休暇がやってきます。何をして過ごすか、お金と相談しなくてはなりません。また、たくさんの介護者が必要になってもきます。その節はよろしくお願いします。 (月岡)



体験宿泊だより

今日は、グループホームあゆむに週2回泊まっている陽子さんの日常を紹介します。夕方5時前陽子さんはあゆむに到着。みどりさんが先に帰っています。陽子さんは家の中の車椅子に乗り換えてリビングへ。缶コーヒーを飲んで一息。

ご飯が炊けた頃生田さんが来て、野菜たっぷりのおかずをにぎやかに食べます。生田さんがみんなを笑わせ、陽子さんは笑い出すと止まらなくなります。食事をした後は一番風呂といきましょうか。風呂でこれまた笑い出す陽子さん。みどりさんが声をかけます。「にぎやかやなあ」「陽子さん笑い出してとまれへん」。

翌朝7時過ぎ、陽子さんはみどりさんに起こされます。服を着替えて食事。朝は時間がすぎるのが速く、薬を飲んで顔を洗って、髪の毛をセットして時計をつけて、忘れ物はないかしら。時計は8時30分、パンジーバスに遅れないように、バス停に到着。運転手の木村さんや先に乗っているみんなが「陽子さんおはよにパンを顔でむかえてくれます。こうして陽子さんのあゆむでの一日は終わり、てしまうかも。日がはじまります。 (さとこ)

さて、次はどんな

お塩少々!?

今年の4月から、週に1回だけ月曜日に厨房のお手伝いをさせていただくことになりました。最初は「このポテトサラダにお塩少々入れて」と言われて、指3本で少しつまんで入れてしまい、「ここは家と違うのよ」と笑われてしまいました。(そうですよね、ここでは家の10倍は作っているのですから)

河野さんの手際の良い味付けに感心したり、山内さんのとり肉の「観音開き」をみて思わず「スゴイー!」と言ってしまいました。

ひょっとすると、手伝うことよりも学ぶことの方が多いかもかもしれません。最近では少しは慣れたように思います。(思っているのは私だけだったりして)

毎週パンジーに行くのを楽しみにしています。欲を言えばもう少し家から近いといいのですが。

(田村)

ショップ「パンジー」

お客さんとメンバーが一体になって



ショップで仕事をしたい、コーヒーを入れてみたいというメンバー、自分の使ったエプロンを自分で持ち帰り洗ってくるメンバー。ひまなときは手作業をしたり、お話をしたり、私もいっしょに楽しませてもらっています。お客様ともなじみになり、いろいろ注意を受けたり、ほめてもらったり、気がつくとお客さんとメンバーが一体になっています。オープン当初に比べるとすこしづつ、うす紙をはぐように変化してきたように思われます。ショップ自身が、まだまだの所も多くありますが、とりあえず一生懸命です。これからも全員で楽しくホットにがんばりたいと思っていますので、ご協力をおねがいたします。

(ショップ担当: K)

ショップをひいきにしてくださっているみなさま、いつもありがとうございます。チョコレートのばら売りをはじめました。

さをりの新製品もできています。

また、のぞいてみてください。



パンジーの元気がでるはなし

自信がどんどんわいてくる

今年1月、アメリカ・カリフォルニア州のピープルファーストのリーダー、ダニエルが日本にきておしえてくれた、「自信をつけるためのプログラム」。「元気がでてる」「おもしろい」と、パンジーのメンバーもノリノリだったこのプログラムを、パンジー流につくって、いろんところでやってみようと、どらえもん会の役員たちが、言いたい言葉をえらび、言いやすい言葉に変えてできあがったのが「パンジーの元気がでるはなし・自信がどんどんわいてくる」です。ではさっそくやってみましょう。今回のダニエル役は福田さんと生田さんです。



1 アイム・ハッピー！

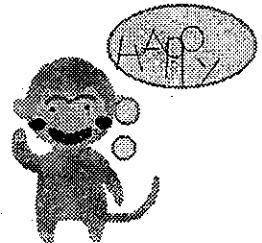
<しつもん> ★どんなときハッピーだった？

★なにをしてみるときがたのしい？

♪カラオケしてるとき！

♪みんなといっしょになあそんでるとき！

(福田) ハッピー！っておもったら げんきがでてる！！



2 みんなにやさしい！

<しつもん> ★さいきん だれかにやさしくした？

♪〇〇さんにやさしくした！

♪くるます おすすめの てつだった！

(生田) やさしくすると うれしくなって みんな なかよくなる！！



3 なんでもできる！

<しつもん> ★あきらめないで がんばっていることはなに？

★これから やってみたいことは？

♪さをりおり がんばってます。

(福田) あきらめないで なんでもやってみよう！



パンジーの元気がでるはなし

じぶんで きめる！

<しつもん> ★じぶんできめたことは どんなこと？

♪とうきょうにいくのを じぶんできめた。

♪「はなしあう会」に行くことをきめた。

(生田) **かってにきめられるのは はらがたつ。じぶんできめたい。**

たたかってる！

<しつもん> ★たたかうって どういうこと？

♪????…。むずかしい…。

(福田) **わたしはいま たたかっています。まけません！**

わたしはかっこいい！

<しつもん> ★あなたは どのところが かっこいい？

★かっこよくすると どんないいことがある？

♪イヤリングして、おしゃれしているのが かっこいい。

♪スポンがかっこいい。

(生田) **あたらしい歌を スナックのママさんにあしえてもって
れんしゅうしてうまく 歌えるのが かっこいいところです。**

- おおきなこえで いおう！
- てをあげて たちあがって
いけんをいおう！
- みんなの いけんのあとには
おおきな はくしゅをしよう！

このプログラムは、**ゆうき**をだして手をあげて、**たちあがって**自分の**いけん**をいうことがとてもたいせつです。自分の**いけん**を言って、みんなから、はくしゅで受けいられる**けいけん**をすることで、**じしん**がついてくるのです。**じんずう**は**おほ**くても、**すく**なくともだいじょうぶ。支援者もいっしょに**たの**楽しもう！

ピアカンのこと 境屋つらら

パンジーのみんなとピアカン（ピアカウンセリングの略）をするようになってもう1年半ぐらいになります。毎回みんなのすばらしさに感激しています。ピアカウンセリングとは、障害を持っている者同士で互いに話を聞きあい、気持ちを分かちあうことを中心に行いながら、自己尊厳を取り戻していくための方法です。だから誰か一人が話している時は他の人は皆聞きます。そして、一部の人だけ時間を多くとりすぎないように、タイマーなどを使って平等に時間を分けます。たとえば「一人5分」とかいうようにして5分たったら順番を次の人へ回します。



ことばで話せない人もその5分の間は「その人の時間」で皆に耳をかたむけてもらい注目をもらいます。話す事柄、内容が問題ではなくて、その時間に皆から大切にされ、あたたかく見守っててもらえることがポイントです。

パンジーで参加している皆はもともと、とってもやさしいのでピアカンがとてもうまいです。

障害の重い軽いを問わず、自分の時間の使い方もみごとです。そしてなにより私が嬉しいのは、みんなが本当のことであればあるほど集中して取り組んでくれることです。東京で行った集中講座の時の「障害」をテーマにした時間は、それはそれはすばらしいものでした。1時間以上もみんなが仲間の声に耳を傾け、障害があることのつらさ、くやしさを分かち合ったあのあたたかさは忘れられません。

2か月に1回東京から行くのもそういうみんなに会いたくて私自身がはげまされているからでしょう。パンジーのみんながリードしてピアカンをやっている日もそう遠くはないでしょう。

落ち着かないのではなく、 落ち着けない!?

中新井 淳子

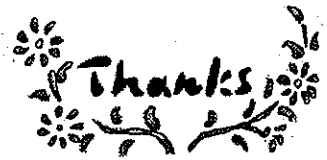
パンジーに来て、一番はじめに相談をうけたのは「作業に集中できない人」へのかかわり方だった。落ちつきのない彼らの気持ちに思いを寄せるとき、その理由は大きく分けて3つあった。①作業場面が落ちついていない。②今心ここにあらず。③作業内容が難しすぎる。今回は最も対応がはやくできた①の例をお話したい。

①に多いのは、自閉症やその傾向を持つ人たちである。彼らは自分の周りで刻々変化していく状況を目や耳で受けとめ、整理統合していくことが苦手なようだ。だから、新しい場面や、急な変更には不安になり、決まったパターンを固執しようとする。決してわがままで抵抗しているのではなく、状況の意味がつかめずに困惑していることが多いのだが、その気持ちを周りにいる人にわかるように伝える方法を知らないで多動、奇声、乱暴等になってしまう。そこで目や耳から入る刺激をできるだけ少なく一定にするために、作業机を部屋の端によせて壁に向かって仕事ができるようにした。

また、机の上は、今彼が行なう仕事の流れが一目で理解できるように設定すると共に、一日のスケジュール表示も彼に分かるように作ってもらった。このような場面設定は「TEACCHプログラム」といわれる治療教育法の中の「構造化」のアイデアを応用したものだが、自閉症の人達にとっては、他のメンバーの動きをあまり気にせず仕事に集中できるお気に入りの場所になったようだ。一定刺激を制限した中で、何を、いつまで、どのように作業すればよいのか、次に何があるのかを示す必要は畑仕事などでも感じた。仕事内容別にロープで区切る、絵や文字で書いたプラカードを立てるなどの工夫があれば、彼らも安心して参加できる。その上で次の課題は、彼らの感じている困惑や疑問や要求を周りにいる人に分かるような表現方法、伝達技術を身につけていくことである。彼らは見よう見まねで覚えていくのではなく、各々の場面で一つ一つ学習していくのだと思う。

この取り組みについては後日報告するつもりだが、メンバー同志のトラブルの多くは悪気ではなく、誤解によるものであることは確かである。他のメンバー達にも彼らの不適応行動の原因を分かってもらうよう努力したい。

きょうりよくしてくれて
ありがとう



先日、つばさグループ10周年記念イベント「「ゆめ」を風にのせ「つばさ」ひろげて…」を無事終えることができました。みなさんのあたたかいご協力のおかげで、およそ800名の人々が集まって下さいました。わたしたちにとって、とても大きいイベントでした。イベントを終えたメンバーの声を聞いてみました。

10月9日水曜日、永六輔さんのイベントバラエティーがありました。パンジーとフレンズ、ランと三きゃくグループの組合せで、イベントがひらかれました。

その中でも今現代はやりだしてきたシャンテというグループが人のなごみのよい音楽を市民会館いっぱいになりひびかしていました。熱唱が会場一面をとどろかしていました。あと、うちのパンジーの生田さんがはじめて会場にあがった人を見ました。生田さんは永六輔さんの心温まる激報を聞いて永六輔さんのイベントが続きました。

それで、永六輔さんの話がおわったところで、休けいが10分ありました。そこで、月岡さんに弁当かってといわれました。ぼくはむりとはことわりきれず弁当をかってしまいました。誰か食べたらいいのに弁当一つ残ったからそれを600円で売ってくれました。それを休けい中に、外の休けい室でばんごはんとして食べました。

(肌勢俊一)

どきどきしました。

マイクもって

あいさつ かんどうしました。

また、したいとおもった。

(五十嵐千佳)

あいさつしたこと。

どきどきしました。またやりたいと思います。

しらない人と あく手を しました。

かんどうしました。江藤のおばちゃんに聞きに来てもらったので、私は嬉しいです。(福田直美)



いろいろな人ととても楽しかったし、うたがとても楽しかったです。またいきたいです。ひさしぶりに ともだちにあえて、とてもなつかしかったです。

でも永六輔さんは、私たちよりも もっとつらい思いをしてるように思いました。でもはなたばをわたした時に よっぽどうれしかったのか、なみだをながしていたような気がします。またどこかであえたらいいのになぁと思いました。

でも永六輔さんが なによりも元気そうでよかったです。みんなと一緒にいったことがうれしかったです。永六輔さんが なによりもうれしかったのは、おおぜいの人 が くるとは思っていなかったのかも

しれないけど、きてくれたことだと思います。私がなによりもうれしいのは チケットをくばって協力してくれたことです。なによりもうれしさのあまりに、みんなでかんしゃをしたいぐらいです。けど、なんていえばいいのかが、よくわかりません。

チケット協力、いろいろな人にくばってくれてほんとうにありがとうございました。こんなことまずないと思ってはいたけど、こんなにきてくれるとは思わなかったです。(麻窪みどり)



永六輔さんの「つばさイベント」に関する文章が『週間朝日』の11月1日号に掲載されていたので、一部抜粋して紹介いたします。

「誰かとどこかで」

京都で在宅介護のボランティア集会に出て、東大阪市民会館へ。阪神淡路大震災のボランティア。「ゆめ・風基金」の世話人代表として参加する。

すべての障害者が集うというときにいつも問題になるのは、知的障害者の参加である。各地で経験してきたが、どうしても身体障害者からのクレームがつかまとうことが多い。

全員で合唱というときに知的障害者だけテープ参加にして問題になったこともある。

しかし、舞台の進行や、内容を理解できないで参加するということが、はたして参加なのかという考えもあり、ここで排除の理論が働いては意味がないという言い方もある。

しかし、この東大阪での集会は、まれにうまく知的障害者が参加し、主張もした。

障害のレベルはどの障害にもあり、奇声をあげてウロウロする人もいたが、クレームはつかなかった。

書き損じハガキ、切手(未使用)を待っています! ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございました

＜後援費を振り込んでいただいた方＞ (敬称を略させていただきます)

泉原寛康 石崎邦彦 田中 誠 岩佐フミ子 浜 樹子
小笠原光子

＜カンパ・寄付をいただいた方＞

泉原寛康

＜書き損じハガキをお送りいただいた方＞

芹田希和子 徳田早苗 母子相談員 楠 西形 功

＜外へ飛び出すためのカンパをいただいた方＞

伊藤康三 石崎邦彦

▲ **パンジー恒例 チョコレート 好評発売中!**

くわしくは、折り込みチラシをごらんください。

▲ **パンジーのメンバーが講演に行きます!**
興味のある方はパンジーまでおたずねください。

▲ **メンバーが全国へ飛び出すためにカンパをお願いします。**
全国の知的障害者が集う会議が各地で行われています。
その会議では、自分たちのこと、将来のこと、自立についてなどを話し合います。

現在、旅費、宿泊費はメンバーの個人負担。
少しでもメンバーの負担を軽くするために、カンパをお願いします。

パンジーでは後援会員を募集しています。

賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号		00950-1-300551	
クリエイティブハウス「パンジー」			

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818
"パンジー" FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市城東区東中浜2-10-1-3
緑橋グリーンハウス1F・7F企画気付